

「ポストムーア世代の組込マルチコアと自動並列化・低消費電力化コンパイラ」シンポジウムを開催いたしました

オスカーテクノロジー株式会社は、早稲田大学アドバンスド・マルチコア・プロセッサ研究所と共催で、2017年7月19日（水）に「ポストムーア世代の組込マルチコアと自動並列化・低消費電力化コンパイラ」シンポジウムを開催いたしました。

このシンポジウムは、組込アプリケーションの高速化・低消費電力化を実現するアクセラレータ付きマルチコアと自動並列化・低電力化コンパイラ技術などについて、ハード・ソフトの開発者からの最新情報と、世界最先端の利用分野の動向をご紹介いただき、今後の応用・並列化ソフトウェア・アクセラレータ付きマルチコア技術の協調により切り拓ける世界について議論を行うものです。

早稲田大学前総長・オスカーテクノロジー取締役 白井克彦の開会挨拶に引き続き、



内閣府総合科学技術・イノベーション会議の常任議員でいらっしゃる久間和生 様にご来賓いただき、政府が目標として掲げている「Society 5.0」についてご紹介いただきました。



アーム株式会社 代表取締役社長 内海 弦 様には、招待講演として「ARM 最近の製品動向とコンパイラへの期待すること」と題してご講演いただき、ARM 社の動向と、コンパイラ技術に対して期待されている機能についてお話しいただきました。



MathWorks Japan インダストリーマーケティング部 柴田克久 様には、「モデルベース開発とコード生成製品の普及と最新動向」と題して、自動車産業を中心に広く開発現場で使われているモデルベース設計とその処理環境についてご講演いただきました。



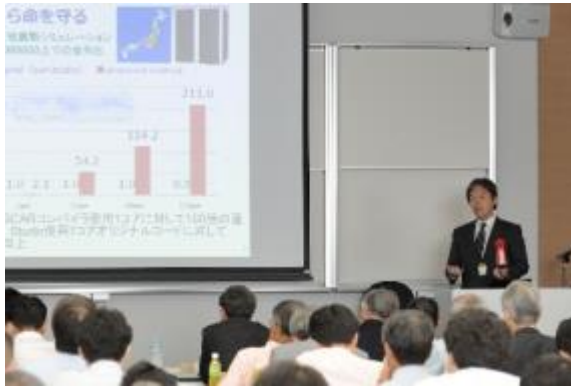
株式会社デンソー 電子基盤技術統括部 IP 開発室 担当次長 森 裕司 様からは、「次世代コンピューティング技術の車載電子制御システム応用」と題して、車載システム開発の状況と、早稲田大学笠原・木村研究室との共同研究の成果について、ご紹介いただきました。



株式会社日立製作所 研究開発グループ 技術顧問 内山邦男 様には、「Society5.0を支えるマルチコア技術への期待」と題して、早稲田大学笠原・木村研究室との共同研究の成果が実際に活用されている例や、Society 5.0 に向けて AI 技術を活用した新しい応用についてご講演いただきました。



主催者側からは、早稲田大学教授・IEEE Computer Society 2018 会長 笠原博徳が「自動並列化・省電力化の最新動向」と題して、研究室で開発してきた OSCAR 自動並列化コンパイラの原理と省電力化方式、今後の研究課題について報告致しました。



弊社フェロー 北村俊明からは、「ベクトル型アクセラレータ構想」と題して、早稲田大学笠原・木村研究室で開発されている最新コンパイラの性能を最大限に引き出すコンパイラ主導ハードウェアアーキテクチャについて紹介させていただきました。



弊社取締役 CTO 納富 昭からは、「OSCARTech®コンパイラのご紹介と開発ロードマップ」と題して、早稲田大学笠原・木村研究室で開発された OSCAR コンパイラを製品化した OSCARTech®コンパイラのご紹介と今後の開発ロードマップについて報告させていただきました。



各方面から約 130 名の方々にご出席いただき、また、引き続いて行われたデモセッションでは、大変活発な議論が行われ、大盛況のうちに終了することができました。

(2017/07/24)